

ご使用前に

シリアルシステム

EX600-LAB1/EX600-LBB1



このたびはSMCフィールドバス機器EX600シリーズをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。お読みになった後も手元においてご使用ください。

本製品および制御ユニットの取扱いに関する詳細な資料については、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
これらの事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO/IEC)、日本工業規格(JIS)およびその他の安全法規に加えて、必ず守ってください。

- 注意:** 取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。
- 警告:** 取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。
- 危険:** 切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

■取扱い者について

- この取扱説明書は、空気圧機器を使用した機械・装置の組立・操作・保守点検するがため、これらの機器に対して十分な知識と経験をお持ちのかたを対象にしています。
組立・操作・保守点検の実施は、このかたに限定させていただきます。
- 組立・操作・保守点検に当たっては、この本書をよく読んで内容を理解した上で実施してください。

■安全上のご注意

警告	
	■分解・改造(基板の組み替え含む)・修理はしないこと けが、故障の恐れがあります。
	■仕様範囲を超えて使用しないこと 引火性もしくは人体に影響のあるガス・液体には使用しないでください。 仕様範囲を超えて使用すると、火災・誤動作・システム破壊の原因となります。 仕様を確認の上、ご使用ください。
	■可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないこと 火災・爆発の恐れがあります。 このシステムは、防爆構造ではありません。
	■インターロック回路に使用する場合は ・別系統による(機械式の保護機能など)多重のインターロックを設けること ・正常に動作していることの点検を実施すること 誤動作による、事故の恐れがあります。
	■保守点検をするときは ・供給電源をオフにすること ・供給しているエアを止めて、配管中の圧縮空気を排気し、大気開放状態を確認してから実施すること けがの恐れがあります。
注意	
	■ユニット取扱い時や取付け時/交換時には、下記の項目に注意すること ・ユニット取扱い時、ユニット接続用コネクタ・プラグの金属鋭利部に触れないでください。 ・ユニットを分解するとき、手をぶつけないでください。 ユニット結合部はバッキンで固く結合されています。 ・ユニットを結合するとき、ユニットの間に指を挟まないでください。 けがの恐れがあります。
	■保守点検完了後に適正な機能検査を実施すること 正常に機器が動作しないなどの異常の場合は、運転を停止してください。 意図しない誤動作により、安全が確保できなくなる可能性があります。
	■シリアルシステムの耐ノイズ性を向上するために、接地を施すこと 接地はできるだけ専用接地としてユニットの近くに、接地の距離を短くしてください。 アース線を接続する

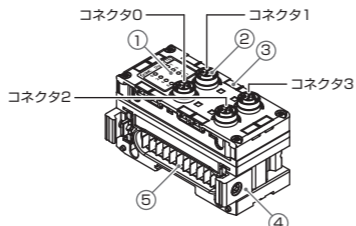
■取扱い上のお願い

- ULに適合する場合、組み合わせる直流電源は、UL1310に従うClass2電源ユニットをご使用ください。

保守

- 保守点検に関しては「安全上のご注意」に従って行ってください。
- 保守点検を定期的実施してください。
- 機器・装置の誤作動により、意図しないシステム構成機器の誤作動の可能性があります。
- 各ユニットの清掃は、ベンジンやシンナーなどを使用しないでください。
表面に傷が付いたり、表示が消えたりする恐れがあります。
柔らかい布で拭き取ってください。
汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布で再度拭き取ってください。
- 保守点検に関する詳細なデータについては、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より資料を入手いただけます。

製品各部の名称とはたらき



No.	名称	内容
1	ステータス表示用LED	ユニットのステータスを表示します。
2	コネクタ	IO-Linkデバイスを接続します。 コネクタ0: IO-Linkポート1 コネクタ1: IO-Linkポート2 コネクタ2: IO-Linkポート3 コネクタ3: IO-Linkポート4
3	マーカー溝	マーカーを取付けることができます。
4	ジョイント金具	ユニット同士を連結します。
5	ユニット接続用コネクタ(プラグ)	隣のユニットに信号を伝達し、電源を供給します。

組立

○ユニットのマニホールド化

- エンドプレートとユニットの接続
デジタルユニット、アナログユニットを順不同に接続できます。
締付トルクは、1.5~1.6 Nmで締付けてください。
- ユニットの増連
最大で1マニホールドにて10ユニット(SIユニット含む)まで接続できます。
- SIユニットの接続
必要な各種ユニットの接続が完了後、SIユニットを接続します。
接続方法は、上項と同様に行います。
- バルブプレートの取付
マニホールド電磁弁に、付属のバルブ固定用ねじ(M3×8)を使用し、バルブプレート(EX600-ZMV□)を取付けます。
締付トルクは、0.6~0.7 Nmで締付けてください。
- SIユニットとマニホールド電磁弁を接続します。
SIユニット側面にあるバルブプレート取付用溝に、バルブプレートを挿入し、付属のバルブプレート取付ねじ(M4×6)で両面2箇所を締付け、固定します。
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。

取付け・設置

■設置方法

- 直接取付
(1)ユニットを6台以上接続するときは、EX600全体の中央部に直接取付用の中間補強用金具(EX600-ZMB1)を付属のねじ(M4×5)で2箇所取付けてください。
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。
- (2)設置場所に、エンドプレートと電磁弁(必要ならば中間補強用金具)を固定してください。(M4)
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。
電磁弁側は、該当するマニホールド電磁弁の取扱説明書を参照して固定してください。
- DINレール取付
(SYシリーズ以外に対応、SYシリーズはカタログ等を参照してください。)
(1)ユニットを6台以上接続するときは、EX600全体の中央部に中間補強用金具(EX600-ZMB2)を付属のねじ(M4×6)で2箇所取付けてください。
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。
- (2)エンドプレートに、エンドプレート用金具(EX600-ZMA2)を付属のねじ(M4×14)で2箇所取付けてください。
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。
- DINレール取付溝をDINレールに掛けてください。
- DINレール取付溝を支点にして金具がロックされるまでマニホールドを押し込んでください。
- エンドプレート用金具(EX600-ZMA2)を付属のねじ(M4×20)でマニホールドに固定してください。
締付トルクは、0.7~0.8 Nmで締付けてください。
電磁弁側は、該当するマニホールド電磁弁の取扱説明書を参照して、固定してください。

■配線方法

- M12コネクタケーブルを接続します。
M12コネクタはSPEEDCONコネクタにも対応しています。
下記にSPEEDCONコネクタの配線方法を説明します。
(1)ケーブル側コネクタ(プラグ/ソケット)の金属リングのマークBとマークAを合わせます。
 - 本体側のマークCの位置に合わせてケーブル側コネクタを垂直に挿入します。
位置が合わずに挿入した場合は、コネクタの接合ができない状態になりますので、注意してください。
 - コネクタのマークBを180度(1/2)回転させることができれば完了です。緩みがないか確認をしてください。回しすぎてしまうと、コネクタを外す際に外しにくくなってしまいますので注意してください。
-
- マーカーの取付
入力または出力機器の信号名やユニットアドレスなどを記入し、各ユニットに装着することができます。
必要に応じてマーカー溝にマーカー(EX600-ZT1)を取付けてください。

・コネクタピン番号 EX600-LAB1

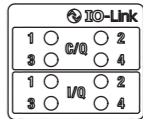
構成	ピン番号	信号名称	内容
	1	L+	24 VDC(制御、入力用)
	2	I/Q	デジタル入力
	3	L-	0 VDC(制御、入力用)
	4	C/Q	IO-Link/デジタル入力/デジタル出力へ切替え可能
	5	N.C.	未使用

EX600-LBB1

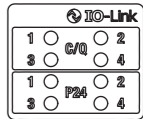
構成	ピン番号	信号名称	内容
	1	L+	24 VDC(制御、入力用)
	2	P24	24 VDC(出力用)
	3	L-	0 VDC(制御、入力用)
	4	C/Q	IO-Link/デジタル入力/デジタル出力へ切替え可能
	5	N24	0 VDC(出力用)

LED表示

ステータス表示用LEDに、電源供給状態や通信状態を表示します。



EX600-LAB1 (Class A)



EX600-LBB1 (Class B)

・C/Qのステータス表示(LED1~4)

機能	LED表示	内容
Deactivated	消灯	ポート無効
IO-Link	緑点滅(2 Hz)	IO-Linkデバイス未接続(通信停止)
	緑点滅(4 Hz)	IO-LinkデバイスがCOM+SIOモードへ移行
	緑点灯	接続デバイス照合異常
	赤点灯	デバイスプロセスデータのマッピング異常
DI	消灯	デジタル入力OFF
	オレンジ点灯	デジタル入力ON
DO	赤点灯	L+が短絡
	消灯	デジタル出力OFF
	オレンジ点灯	デジタル出力ON
	赤点灯	L+またはC/Qが短絡

・I/Qのステータス表示(EX600-LAB1のLED1~4)

機能	LED表示	内容
I/Q	消灯	デジタル入力OFF
	オレンジ点灯	デジタル入力ON
	赤点灯	L+が短絡

・P24のステータス表示(EX600-LBB1のLED1~4)

機能	LED表示	内容
P24	消灯	出力用電源OFF
	緑点灯	出力用電源ON
	赤点灯	P24が短絡

LED表示に関する詳細なデータについては、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より資料を入手いただけます。

トラブルシューティング

LED表示を参考にしてください。トラブルシューティングに関する詳細なデータについては、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より資料を入手いただけます。

仕様

型式	EX600-LAB1	EX600-LBB1		
IO-Linkポートタイプ	Class A	Class B		
通信速度	CDM1 (4.8 kbps) COM2 (38.4 kbps) COM3 (230.4 kbps) 接続するデバイスに応じて自動切替え			
IO-Linkバージョン	Version 1.1			
IO-Linkポート数	4			
最大供給電流(L+とL-)	0.5 A/コネクタ 2 A/ユニット	0.5 A/コネクタ 1 A/ユニット		
最大供給電流(P24とN24)	-	1.6 A/コネクタ 3 A/ユニット		
デジタル入力	ピン番号	2	4	4
	入力形式	PNP		
	入力電流	約2.5 mA	約5.8 mA	約5.8 mA
	ON電圧	13 V以上		
	OFF電圧	8 V以下		
デジタル出力	ピン番号	4		
	出力形式	PNP		
	最大負荷電流	0.25 A/点 (制御、入力用電源から供給)		
使用温度範囲	-10~50 °C			
保存温度範囲	-20~60 °C			
質量	320 g			

製品仕様に関する詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より資料を入手いただけます。

外形寸法図

外形寸法図に関する詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より資料を入手いただけます。

SMC株式会社

URL <https://www.smcworld.com>
お客様相談窓口 フリーダイヤル ☎ 0120-837-838

© この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
© 2019 SMC Corporation All Rights Reserved

EX# #-OMX0005